

## JSAF 外洋東海第 107 回理事会・第 59 回代議員会議事録

1.開催日時 2026 年 1 月 29 日（木）午後 7 時 00 分～9 時 00 分

2.開催場所 Zoom によるオンライン会議

3.出席理事及び代議員

<理事会>

（本人出席）

大島茂樹、坂谷定生、川合紀行、岩瀬喜貞、三浦信郎、水越英次、結城光広、  
大橋哲二、安藤光彦、奥田義明

（委任状出席）

水谷節生、加藤利基、林 泰成

定足数 10 出席数 13（成立）

<代議員会>

（本人出席）

坂口龍哉、永井守久、三浦桂子

（委任状出席）

安井 理、岡 吉樹、大島和晃

定足数 5 出席数 6（成立）

（オブザーバー）

富川則之（監事）

### 4.議事内容

定刻になったので、大島会長議長となり理事会・代議員会の開会を宣す。

会長挨拶の後、議事録署名人として、川合紀行、岩瀬義貞の両氏を指名後議事に入る。

- 1) 2024 年度 12 月末までの事業報告及び収支状況報告及び直近 3 レースの会計報告について  
会長命により坂谷専務理事から資料 1, 2, 3, 4, 5 について説明があった。

資料 1 では本年度開催は 6 レースで、問題なくレースが開催できたことや各レースの参加艇数などについて、また年間を通じての各委員会の活動実績について説明があった。

資料 2～4 では、パールレース、デニスコナー、東海チャンピオンシップのこれまで収支報告していないものについての報告があった。

資料 5 では本年度実施の全レース収支状況含め、12 月末までの外洋東海全体の会計について説明があった。内容はおおむね次の通りであった。

レース及び表彰等レース関連については、2,432,500 円の収入に対し 4,695,647 円の支出で 2,088,698 円の赤字となったが、自動式ブイ約 1,800 千円を含む 2,147,000 円の備品購入費が大きな要因となった。パールレース特別会計(資料: 6)については 66 回大会が 79,167 円の赤字となったため、留保金は 687,783 円となっている。

計測、安全、海事普及の事業では 184,000 円の収入に対し、471,000 円の支出で 287,000 円の赤字（年末パーティーでの支出が影響）となった。

会費等の収入は 1,074,784 円で、友の会からの 2,000,000 円の繰入金を含め、3,274,784 円

の収入に対し、支出は、事務局管理費をはじめとする会の運営関係費用は 1,154,596 円となった。昨年からの繰越金が 1,459,710 円あるので、総収入は 7,350,994 円、これに対し総支出は 6,321,243 円となり、12 月末の予算残金は 1,029,751 円となっている。今後の支出を考慮すると、次年度への繰越金は 300,000 円程度となる見込みである。

以上の報告について会長より質問、指摘などを求めたが、特に意見はなく報告事項を終了した。

## 2) 2026 年度事業計画案、収支予算案及びレース日程について

会長名により坂谷専務理事から資料 7, 8 により、2026 年度事業計画案及び収支予算案について説明があった。

説明と同時にエリカカップの日程変更、パールレースにおけるコース変更、デニスコナー、東海チャンピオンシップの日程変更等について調整した。

エリカカップについては開催日周辺の日程が過密になってきており、各面から移動してほしい旨の要望もあって、5 月開催から翌月への移動が望ましいことから、6 月第 1 日曜日で固定することを決定した。

パールレースについては、五ヶ所湾沖スタートにおいて、交通の便、宿泊施設、会議場の確保等に苦慮していたこともあって、実行委員会での協議や外洋湘南との調整も考慮に入れた結果、ラグナマリーナ沖スタートへのコース変更を決定した。

また、デニスコナーは 8 月最終週に、チャンピオンシップは 2 週に渡っていたものを土日 1 回の日程への変更を決定した。

一方で IRC 艇の参加が減少 (TRS にエントリー) しているが、IRC を充実させるためにはクラスを別にして表彰すればおのずと増えるとの意見が出され、異議がなかったので次年度はこれまで IRC クラスを設定していなかったエリカカップ、ラグナデニスコナーについても IRC クラスを設定し、新たにカップも作成し表彰していくことを確認した。

2026 年度のレース日程は資料: 9 の通りとなった。

## 3) JSAF 関係報告について

本年の JSAF 理事選挙に関連してその選出方法の変更について坂谷常務理事から以下の通り説明があった。

まず理事数については理事会審議をスピードアップするため、定数を現行最大 32 名を 12 以上 20 名以下に変更。また、理事の選出にあたって選挙ではなく、多くのオーソリティーで行われている役員選考委員会を設置しての推薦制とする。このことは 2 月の理事会で審議決定し、次回役員改選から実施予定である。

岩瀬理事からは海その愛関連事業でローカルクラブに補助金が出るので手を挙げるクラブがあれば立候補してくださいとの情報があった。

## 4) 委員会報告

### ・計測・安全委員会

川合委員長から計測については粛々とやっていきたい。安全に関しては最近ライフライン」

が切れて落水者が出ています。全員救助されているが、各ヨットクラブにおいてはクラブレースをする時には十分に啓蒙して気を付けていただきたい。

- ・ルール委員会

大島委員長から海陽ヨットハーバーで B 級ジャッジの講習会などを実施しているので利用していきたい。

- ・海事普及委員会

大島会長から年末パーティーは水越、岩瀬さんでお願いしたい旨発言があった。

坂谷専務理事から日程は 11 月 28 日の土曜日で、時間について意見を聞いたところ、昼間がいいということになり、名古屋駅周辺で昼の開催と決定した。

以上全議事終了したので、21 時大島会長閉会を宣す。

作成者                  坂谷定生

議事録署名人   岩瀬喜貞  
                         川合則行